令 和 ２ 年 ９ 月 １ ０ 日
国土交通省中部地方整備局
木 曽 川 下 流 河 川 事 務 所

大規模災害に備え、防災通信訓練を実施します

～現地映像を関係機関にリアルタイム配信～

災害時において、現場の被害状況や復旧活動等、災害時の活動をより効率的に行うには、緊急的な防災通信回線を円滑かつ確実に構築することが必要不可欠です。そのため、中部地方整備局では、機動性が高く安定した防災通信機器の導入を進めています。

今般、災害時に迅速かつ確実に防災通信回線が構築できるよう、防災通信機器の操作技術の習熟等を目的として、三重ブロックにて防災通信訓練を実施します。

１．開催日時　：令和２年９月１５日（火）　９：５０ ～ １６：００（小雨決行）

２．現地訓練　：城南防災ステーション
　実施場所　　揖斐川右岸　伊勢湾岸自動車道上流側（桑名市立田町地先）
（集合場所）

なお、※午前の操作技術習得訓練は、城南防災ステーション１箇所で行います。
※午後の被災自治体等との情報共有訓練は、城南防災ステーション、木曽川下流河川事務所、桑名市、城南排水機場に現地訓練参加者がそれぞれ分担して配置し、行います。

３．参加機関　：国土交通省（本省、中部地方整備局、木曽川下流河川事務所、三重河川国道事務所、北勢国道事務所、紀勢国道事務所、蓮ダム管理所）
桑名市
災害又は事故における緊急的な応急対策の支援に関する協定業者（（一社）建設電気技術協会中部支部）

４．内　　容　：操作技術習得訓練
被災自治体等との情報共有訓練

５．その他　　：・取材を希望される方は、事前に下記問い合わせ先まで連絡して下さい。
・防災体制に入ることが想定される場合等は実施を延期します。
（予備日）令和２年９月２９日（火）

６．配　布　先　：桑名市政記者クラブ

７．問合せ先　　：511-0002 三重県桑名市大字福島４６５
国土交通省　中部地方整備局　木曽川下流河川事務所
副　所　長　　田中　靖久
防災情報課長　　近田　浩之
ＴＥＬ　０５９４－２４－５７２１

https://www.facebook.com/cbr.kisokaryu/
木曽川下流：フェイスブックもやっています。

令和2年度（前期）防災通信訓練（中部－三重ブロック）

国土交通省
木曽川下流河川事務所
防災情報課

案　内　図

現地訓練実施場所（集合場所）

城南防災ステーション
　揖斐川右岸
　伊勢湾岸自動車道上流側
　（桑名市立田町地先）

なお、
※午前の操作技術習得訓練は、城南防災ステーション1箇所で行います。
※午後の被災自治体等との情報共有訓練は、城南防 災ステーション、木曽川下流河川事務所、桑名市、城南排水機場に現地訓練参加者がそれぞれ分担して配置し、行います。

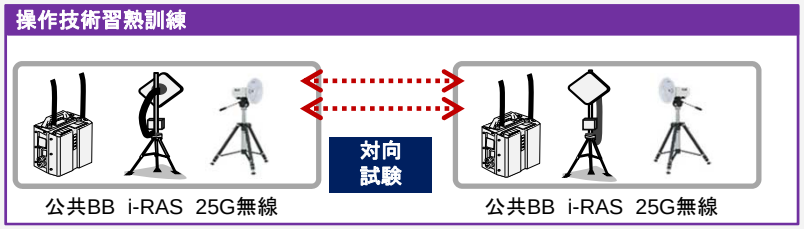
令和2年度（前期）防災通信訓練（中部－三重ブロック）

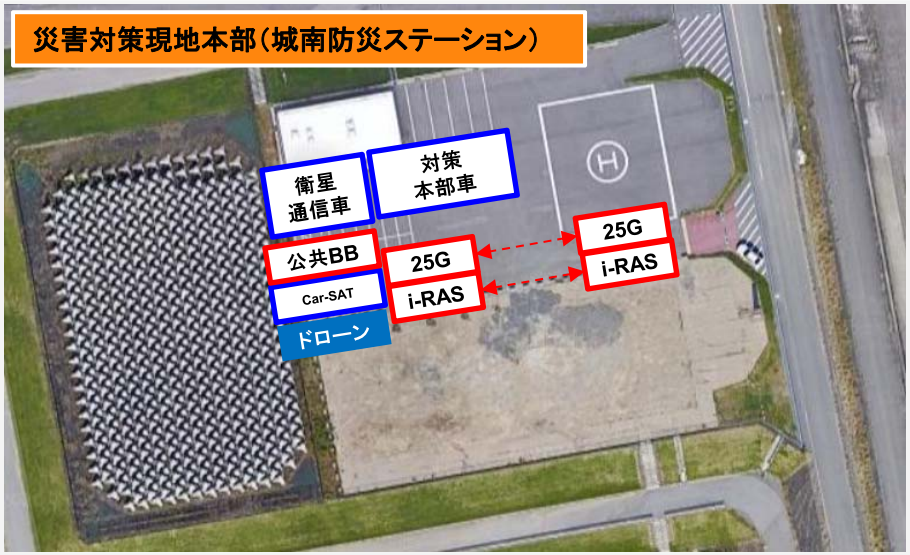
国土交通省
木曽川下流河川事務所
防災情報課

訓 練 概 要

AM　操作技術習得訓練

■　新規に導入した「i-RAS」「25G無線」「公共BB」「Car-SAT」を重点通信機器として、操作技術習得訓練を行う。





PM　被災自治体等との情報共有訓練

■　被害想定を基に、被災現場の映像（ヘリ映像、Car-SAT移動映像、ドローン映像、WEBカメラ映像）を各所に配信する訓練を行う。
また、各所との間で、WEB会議訓練を行う。

※各所：現地対策本部、木曽川下流河川事務所、中部地方整備局、国土交通本省、被災自治体（桑名市）

（被害想定）
超大型で非常に強い台風が中部地方を通過、木曽川流域では長時間の豪雨が発生
・揖斐川右岸7.2kmにおいて延長120mの堤防決壊
・揖斐川右岸6.0km～12.6km（約7.6km）にわたり、広範囲に浸水被害
・桑名市では、逃げ遅れた住民が救助を待っている状況

（通信状況の前提）
・通常の通信網（公衆回線）は途絶
・事務所－桑名市間で接続している光ファイバは切断

令和2年度（前期）防災通信訓練（中部－三重ブロック）

国土交通省
木曽川下流河川事務所
防災情報課

■被災自治体等との情報共有訓練の実施内容

1，現地対策本部、木曽川下流河川事務所、中部地方整備局、国土交通本省の他、被災自治体である桑名市とも連携した防災通信訓練を行う。

2，訓練内容は、各種通信機器を使用して臨時回線を構築、「設営・回線構築・NW接続」から、「映像配信・受信」また「WEB会議の運営」、そして「回線切断・機器撤収」までの、一連の訓練を実施する。

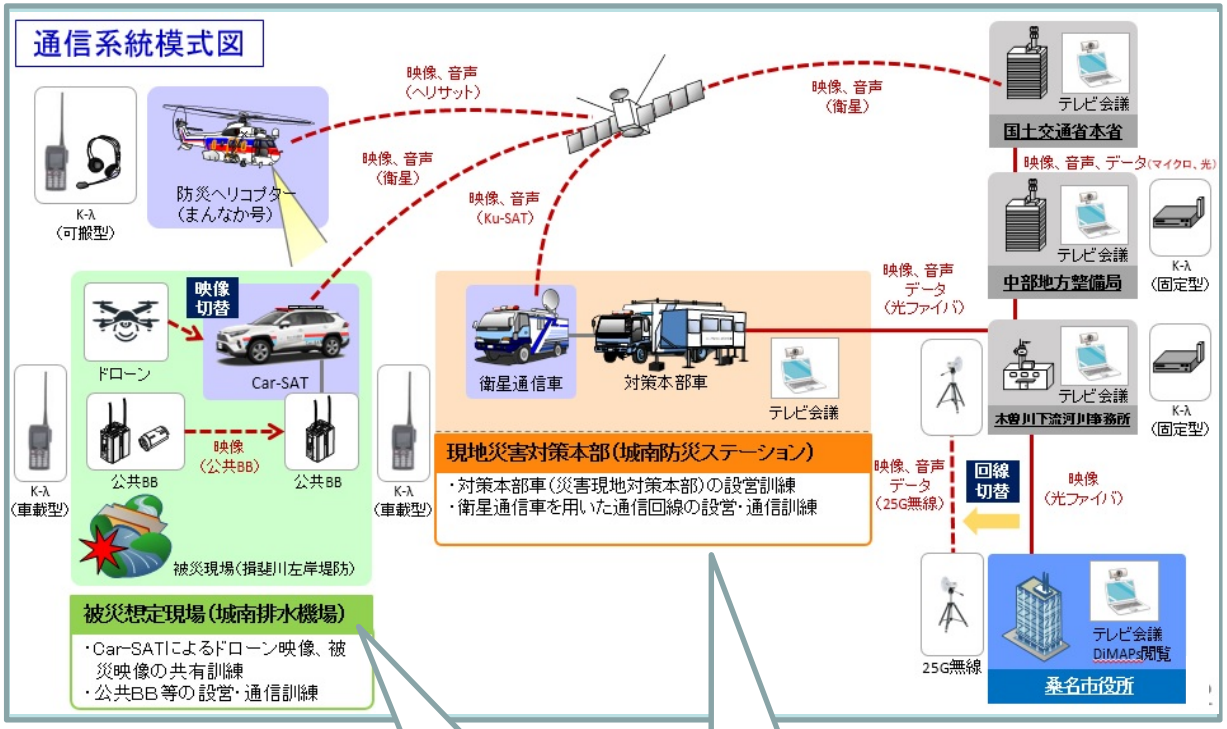
3，なお、現地訓練に参加の訓練者は、4班に分かれ、それぞれの箇所（城南防災ステーション、木曽川下流河川事務所、桑名市、城南排水機場）に配置して、回線構築等の訓練を行う。

○13:00～14:15「設営・回線構築・NW接続」
- 4班それぞれの箇所につき、通信機器の設営等を実施

○14:15～15:00「映像配信・受信」
- 城南防災ステーションの資機材搬出状況の映像を、通信衛星を介して配信、中部地方整備局、木曽川下流河川事務所、桑名市において受信
- 防災ヘリ「まんなか号」による被災現場映像を配信、現地対策本部、中部地方整備局、木曽川下流河川事務所、桑名市において受信
- Car-SATによる現地踏査までの車の移動映像、また、ドローンやWEBカメラによる現場映像を、Car-SATや公共BBを介して配信、現地対策本部、中部地方整備局、木曽川下流河川事務所、桑名市において受信

使用通信機器；衛星通信車、25G無線、ヘリサット、Car-SAT、ドローン、公共BB、超短波無線電話装置（K－λ）

○15:00～15:30「WEB会議の運営」
- 現地対策本部、木曽川下流河川事務所、中部地方整備局、桑名市による4者会議
- 現地対策本部、木曽川下流河川事務所、中部地方整備局による3者会議
- 現地対策本部、木曽川下流河川事務所、中部地方整備局、国土交通本省による4者会議



○15:30～16:00
「回線切断、機器撤収」

※被災想定の揖斐川右岸7.2kmの堤防決壊箇所は、今回の訓練では、城南排水機場に見立てて行う。

※城南防災ステーションに、対策本部車を設営し、現地対策本部を立ち上げる。

令和2年度（前期）防災通信訓練（中部－三重ブロック）

国土交通省
木曽川下流河川事務所
防災情報課

訓練使用通信機器の紹介

：本訓練使用通信機器

（ヘリサット）
防災ヘリ

地上災害に影響を受けない上空より、映像の伝送を行います。

i-RAS

災害発生時に、国土交通省専用回線と災害現場の通信接続を行います。

Car-SAT

移動しながらリアルタイムに高品質映像、音声の長距離伝送が可能です。

公共BB無線装置

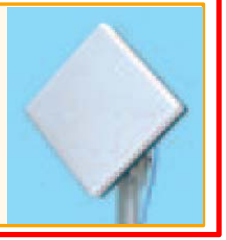
公衆回線を使わず、移動しながらリアルタイムにデータの伝送が行えます。

（K-ラムダ）
移動無線

災害に強い独自回線により、確実な音声通話を行います。

Ku-SAT・衛星通信車

地上災害に影響を受けない衛星回線を介して、継続的な被災箇所の映像伝送を行います。

無線アクセスシステム

無線局免許が不要な無線伝送システムで、他機関接続やラストワンマイルの通信に使用します